



午前の利用は予約が必要です。詳しくは3面の「あーち利用のご案内」をご覧ください。

あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願いいたします

のびやかスペース あーち



明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年末に私は、日本語を勉強している生徒さんに、日本の五円玉をあげようと思って、五円玉とご縁を関連付けた説明を考えていました。調べていると気づくことがありますね。私たち日本人は、結婚や仕事、ペットとの出会い、買った商品にもその理由を聞かれると、多くの人が「ご縁があったんです。」と言うようです。それを英語で表現するのは難しいのですが、しいて言うなら「It was meant to be.」です。「そうなる運命でした。」です。何年も続いているお友達がいれば、それは「It was meant to be.」「運命ですね。」と言えます。ご縁も文脈によっては、good luck と訳せます。2023年、みな様にたくさんの良いご縁がありますように。I wish you a lot of good luck in 2023.

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

「どんぶらどんぶら七福神」

文:みき つきみ

絵:柳原 良平

こぐま社 2011年11月発行



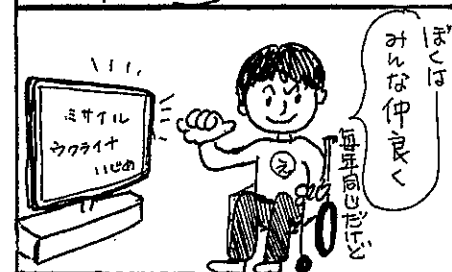
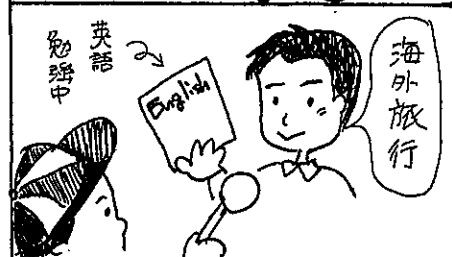
お正月にふさわしい縁起の良い絵本です。七福神は有名ですが、七人の神様の名前は知っていますか？この本ではそれぞれの神様を、数え歌のようなテンポの良い文章で楽しく紹介しています。

毘沙門天のお顔を、どこかで見たような…と思っていたら、絵を描かれた柳原良平さんは、サントリーのキャラクター「アンクル トリス」を考案された方でした。

(あーちスタッフ 山名睦子)

えんじえる君II by Bon

2023年に想う夢



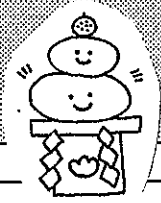
神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

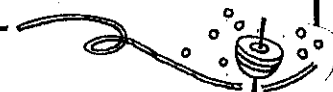
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971



1月予定表



		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	日	 冬季休館	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		あらかると音楽遊び 14:30~15:00
8	日	休 館	
9	月		
10	火		小林さんの"ふらっとであそぼう!"(予約制) 11:00~11:20
11	水		
12	木		
13	金	よる・あーち 17:00~19:20	
14	土		
15	日	休 館	
16	月		
17	火		
18	水	パパママほっと 10:30~12:00	
19	木		ベビーマッサージ(予約制) 11:00~12:00
20	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA(予約制) 10:45~11:45
21	土	おはなしの国 14:30~15:00	
22	日	休 館	
23	月		
24	火		小林さんの"ふらっとであそぼう!"(予約制) 11:00~11:20
25	水		ベビーマッサージ(予約制) 11:00~12:00
26	木		
27	金	よる・あーち 17:00~19:20	
28	土	おもちゃ病院 14:30~15:30	
29	日	休 館	
30	月		
31	火		



<プログラムの参加方法>

- ・ ふらっとで午前に行うプログラムは予約制です。通常利用の予約フォームからお申し込みください。
 - ・ こらぼのプログラムは予約不要ですが、午前の部で同時にふらっとを利用される場合は予約が必要です。
- ※予約の手順については3面の「あーち利用のご案内」をご覧ください。

<プログラムのご案内>

あらかると音楽遊び・・・手作り紙芝居や大型絵本におもしろい音や音楽を合わせた、楽しい読み聞かせです。

おはなしの国 ……ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)

おもちゃ病院 ……ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)

おもちゃ病院の情報は Facebook神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。

小林さんの"ふらっとであそぼう!"・・・季節に合わせたふれあい遊びや絵本の読み聞かせ。育児相談もできます。

パパママほっと ……ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんを育てている

保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。

ベビーマッサージ・・・予約制です。バスタオル1枚、タオル、着替え、おむつ、赤ちゃんの飲み物をお持ちください。

受付に10分ほどかかりますので、10:45頃までにお越しください。

リフレッシュYOGA・・・自宅でも簡単にできるヨガです。ヨガマットやバスタオルなど敷くものをお持ちください。

<あーち利用のご案内>

午前(10:30~12:30)の利用は予約が必要です。定員はおおむね5~6組(10人程度)です。

午後(14:00~16:00)の利用は予約は不要です。定員はおおむね10組(20人程度)です。

※保護者は1組につき2人まで利用できます。

※状況により、ご利用をお断りする場合があります。ご理解・ご了承をお願いします。

<午前の予約について>

- ・事前予約は1週間ごとに受付けます。
- ・毎週火~金曜日の間に予約フォーム(右のQRコード)から翌週分の予約を行ってください。
- ・希望者多数の場合は抽選となり、結果は土曜日にメールでお知らせします。



<当日予約について>

- ・当日空きがある場合は、お電話で予約ができます。(先着順)

利用当日の午前10:30以降に、あーち受付までお電話ください。TEL(078)805-6090

<ご利用にあたっての留意事項>

- ・おとなは必ずマスクをしてください。
- ・来館前にお子さんご自身の体温を測ってお越しください。
受付で体調などを伺う「健康おたずね表」に記入していただきます。
- ・昼食、おやつなどの飲食はできません。(水分補給は可)
- ・関係者の感染が確認された場合、接触者追跡のため市や保健所に個人情報を提供することがあります。

138億年の時間の中で

なかせい

第22話 「諦めたくないの、むりだとわかっているけど」

ときどきママ友の相談にのることもあるのですが、学校が怖い、ちょっと間違えただけで怒鳴られる…と訴える子どもが時々いると聞きます。どこまで本当かどうかは分からないけど、同じように感じている子は潜在的にもっといるんだろうな、と予測できます。

子どもと接するのにイライラしちゃったり苦しくなったりすることがあるのは十分に理解できます。そんなことは私もしょっちゅうです。複数の生徒を相手にしている先生なら特に大変そう。苦しいだろうな、ホントはブチ切れちゃいたいんだろうな。

どうしても怒鳴っちゃうこと、感情的になっちゃうことは人間である以上しかたのないことかも。

でも、怒って子どもの行動をコントロールするのって一番手っ取り早くって楽な方法なんですよ。だってこちらは大人で相手は子ども。

怒鳴って、懲罰的な方法で、子ども達がお互いを監視

するようにすれば「問題ない」クラス運営はできるかも。身体が大きくて経験値の高い大人であれば誰にでもできる方法。

じゃあ教員の専門性ってなんだろう??って思っちゃう。

この程度の恐怖感も我慢できないのは甘ったれてる、なんて意見も出そうだし、実際、そうかもしれないと思うところはあるんです。

でも、恐怖で支配されることは子どもにとっても一番ラクチンな事なんだと思います。だって、言う事を聞いていればいいんだから。なんでルールがあるのか考えなくてもいい。ひたすら黙って時間を過ぎるのを待てばいい。反省した振りをしていれば頭の中では何を考えててもいいし。誰かが決めたことだからトラブっても責任はとらなくていいんだもの。そしてお互いを監視する行動の中で得られる優越感やほの暗い快感

はクセになっちゃうのかもね。

なんで間違えちゃうんだろう？なんでルールが必要なんだろう？イヤな事がイヤだと、好きな事が好きと言えないのはなんでだろう？

本当は子ども達が自主的にそうやって考えてくれるのがベストなんだけど、抽象概念を獲得できていない低学年の子ども達にとっては到底無理な気がします。

だから、一番楽な方法をとる。時間も場所も人員も制限があるのに、やらなくちゃいけないこと(と思ひこんでいる)は山ほどあるんだから。波風が立たないほうが大人にとっても子どもにとってもいい場合もあるかも知れない。短期的に見れば。

でも、大人側から問いかけを辞めたら、諦めてしまったら、子どもはずっと「考えること」「内省すること」を獲得できないかもしれない。だから自分が何を思っているのか感じているのかがハッキリわからない大人も多いのかもね。

どうせ子ども達を甘やかしたくないのなら、我慢を経験させたいのなら、自分の気持ちや考えを表現する勇氣やちょっとした恐怖感や、自己選択の結果を引き受ける重さや、意見や利害が対立する自分とお友達とのケンカの落としどころを見出すまでの困難さや、かかる時間への忍耐、限界を感じた時の絶望感、そこからどうやって希望を見出すかの難しさを学ばないのにはと思います。そんなこと、大人も獲得できていないんだから、学ぶのは楽しいはず。

多分、そっちの方が子どももしんどい我慢と忍耐が必要だし、めっちゃくちゃ頭を使う。甘やかしとは程遠い。自分の気持ちを聞いてもらえる体験の積み重ねは、自分を好きになれることと繋がると思います。自分を好きになれば、お友達も好きになれる。好きなものや人が多ければ勇氣がでるし、やる気もでると思います。それは長男の学校生活を見て感じたこと。

次男の学校での経験から言語化できるようになった、私の考え。

理想論になっちゃうけど、理想は一生到達できないことを前提に追いつけるものだと思います。理想追及の難しさという重力に逆らわないと落ちていくしかないもの。

だから親子関係の中でくらいは、諦めたくないのです。怒鳴らない、むやみに叱らない、どんな気持ちなのか、何を考えているのか、それはどうしてなのかを問うことを。問われた側はちょっと怖いかもしれないけど。

長男の場合は言葉を操るのに大きな壁があるからとんちんかんな会話になることの方が多いのですが、私の問いかけに対してストライクな返しがなくてもいいのです。言いたくなかったらそれでもいい。

あなたの行動と感情の主導権はあなたにある。障がい重い長男にも、それを示していきたいのです。それが私の子どもへのスタンス。

うっかり子どもの気持ちを無視してしまって高圧的な態度をとってしまった時は謝るしかない。

私が何を見誤って、なぜそうなっちゃって、イライラしてしまったのかを説明しています。

子どもが理解できなくても、そうします。いいのか悪いのかはわからないけど。

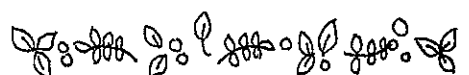
だって、大人は多少の知識と経験はあるけれど、決して子どもより「エライ」わけではない。子ども達は大人が失ってしまった能力を持っているのだから。ただ笑うだけで周囲の大人を平和な気持ちにさせる能力は子どもの方が高い。そういうふうになれている。

だったら、大人はその能力を子どもから学べる余地があるのだから。

イヤだ、嫌い、悲しい、嬉しい、楽しい、大好き。

そんな感情を大人が受け止めてあげないと、子ども同士が受け止める経験をしないと、誰も自分を好きにならない。

高い知能やスキルを身に付けていたとしても自分を好きになれなくちゃ力は発揮できないことは、過去の私自身が証明できるのです。



<ふらっと相談員>

水曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター(第2、第4水のみ) 午後 助産師

木曜 午前 保健師

土曜 午前 助産師

☎お電話でも相談できます

